

# 国民健康保険税 課税限度額引き上げと 軽減措置の拡充

## 総務常任委員会

**A** **Q** 国民健康保険税  
条例の一部改正

**A** **Q** 国民健康保険税  
改正による課税限度額の引  
き上げに該当する世帯数は、  
医療給付費分で  
96世帯、その影響額  
は平成30年度課税ベースで  
計算すると、278万60  
00円の増となる。

**A** **Q** 中核機能地域につ  
いて含まれていない  
のであれば、これから財政  
調整基金の残高がさらに減  
少するということか。

**A** **Q** 平成29年度から令  
和8年度までの10年  
間の中期財政計画を立てて  
いる。中核機能地域の事業  
費が確定してから次回の総  
務常任委員会に提出する。  
ふるさと納税  
その実績は

**A** **Q** 平成30年度のふる  
さとくりはら応援寄  
付金の実績は、また、寄付  
を断るケースなどあるのか。  
件数は827件で、  
金額は1961万円  
であった。また、ほとんどの  
方がふるさと納税の運営  
サイトを利用しておられ、本  
人の意思で栗原を応援する  
ために利用していただいている  
ものであり、断ること  
はない。

合計画について見直し、そ  
れに合わせて財政計画も見  
直したい。



**Q** 財政調整基金の残  
高はかなり減っています  
く見込みであるが、中核機  
能地域の計画に関わるもの  
は含まれているのか。

**A** 含まれていない。

**A** **Q** 29年度は1万844  
5人であり、平成30年度は  
前年の約7割を見込んでい  
たが、実績は9579人で  
あつた。それを踏まえて今  
年度は新たなイベントなど  
の取り組みにより、まだ2  
カ月間ではあるが前年度よ  
り入館者は増えている。

**A** **Q** プレミアム付商品  
券の購入対象者であ  
る住民税非課税者、3歳未  
満の子どもがいる世帯の人  
数はどうか。

**A** **Q** 住民税非課税者  
は1万5000人、  
3歳未満の子どもがいる  
世帯は1200人と見込  
んでいる。

**A** **Q** 医学生修学一時金  
貸し付け人数は  
数はどうか。また、そのう  
ち何人が市立病院に就業し  
ているのか。

**A** **Q** 貸付金の貸し付け人  
数はどうか。また、そのう  
ち何人が市立病院に就業し  
ているのか。

**A** **Q** 貸し付け人数は、  
在で16人であり、学生も含  
まれるが、うち10人が医師  
免許を取得している。また、

# プレミアム付商品券 事業費で 1億2136万円を計上

## 文教民生常任委員会

**A** **Q** 学校給食費の賄材  
料費について、減額  
となった理由は何か。

**A** **Q** 配食数が減ったこ  
とによる減額であり、  
当初見込んだ予定に対し、  
各給食センターから報告さ  
れた実際の配食数が少な  
かつたためである。



**A** **Q** 新しく整備された  
栗原中央病院のリハ  
ビリ広場は、面積が以前よ  
り狭くなっているが、利用  
者からの意見はないか。

**A** **Q** 今回は以前よりコ  
ンパクトにして、機  
能を集約し、スロープ、歩  
行コース、悪路、階段など  
があり、すばらしい機能を  
持った施設となっている。  
現場の理学療法士長と協議  
し設計しており、機能を充  
実させているので、現場か  
らは大変喜ばれている。

**A** **Q** リハビリ広場  
利用者の声は

市立病院に勤務している医  
師は4人、うち2人は臨床  
研修医である。

**A** **Q** 基本構想で築館宮野地区における生活創造拠点の整備内容は、公園は、自由広場、多目的広場、パークステーション、低木の森など、さまざまな案を示しているが、これらの中から具体的にどれが実現可能か、今後の基本計画策定の中で検討していく。

**A** **Q** 築館宮野地区の公園整備は、市内の多くの公園が適切に管理されていれば、既存の公園の活用で十分と考えるが。基本構想の中で、築館宮野地区における生活創造拠点の整備内容は、公園は、自由広場、多目的広場、パークステーション、低木の森など、さまざまな案を示しているが、漠然としていて全体が見えない。

**A** **Q** 築館宮野地区の排水対策は早く実施すべきと思うが、排水対策と生活創造拠点の計画は、切り離して実施することを考えられなかつたのか。大規模な開発の際なる。また、計画地の現況

審査意見

生活創造拠点における「広場・公園機能」の基本計画において、「広場・公園機能」以外の新たな生活関連の機能を附加するとともに、当該地域において両機能の相乗効果が発揚できるよう、新たな検討を加えること。また、排水対策については喫緊の課題であることから、一体性を視野に入れ早急な対応を実施されたい。

# 中核機能地域 (築館宮野地区) 基本計画等策定業務について

## 産業建設常任委員会

**A** **Q** 基本構想の中で、昭和の森をイメージしている。基本計画を策定する中で、モデルについても改めて検討する。

**A** **Q** 基本構想で築館宮野地区にヘリポートを新たに造らなければならぬ理由はなにか。

**A** **Q** 築館宮野地区の公園整備は、市内の多くの公園が適切に管理されれば、既存の公園の活用で十分と考えるが。中核機能地域の基本構想は、これまで、医療費無料化など様々な取り組みを実施してきたが、人口減少に歯止めがかからないため、若い世代に更に住みたいと思ってもらえる新しいまちづくりが必要と考え、構想を策定した。

**A** **Q** 現在、築館高校のグラウンドを臨時的に使用している。その際、事前に消防本部で散水し、グラウンドを使用していれば避難させている状況である。臨時のではなく、恒常的な施設として設置の必要があり、構想の中で検討した。

**所管事務調査**

**消防本部通信指令センター**や消防団の現状などについて調査した。

**調査の結果**

消防本部通信指令センターの高機能消防指令システムは、消防庁舎建設に伴い平成19年度に整備して

以来10年以上が経過し、経年劣化による機能停止などの危険性が高くなることから、平成30年度に指令装置への出動指令まで迅速に対応する体制を確保している。

消防本部通信指令センターの高機能消防指令システムは、消防庁舎建設に伴い平成19年度に整備して

## 新たな工夫が必要 消防団員の入団促進

総務  
4/22



迅速に対応する通信指令センター

消防本部通信指令センターの高機能システムは、消防庁舎建設に伴い平成19年度に整備して以来10年以上が経過し、経年劣化による機能停止などの危険性が高くなることから、平成30年度に指令装置への出動指令まで迅速に対応する体制を確保している。

消防本部通信指令センターの高機能システムは、消防庁舎建設に伴い平成19年度に整備して

消防本部通信指令センターの高機能システムは、消防庁舎建設に伴い平成19年度に整備して